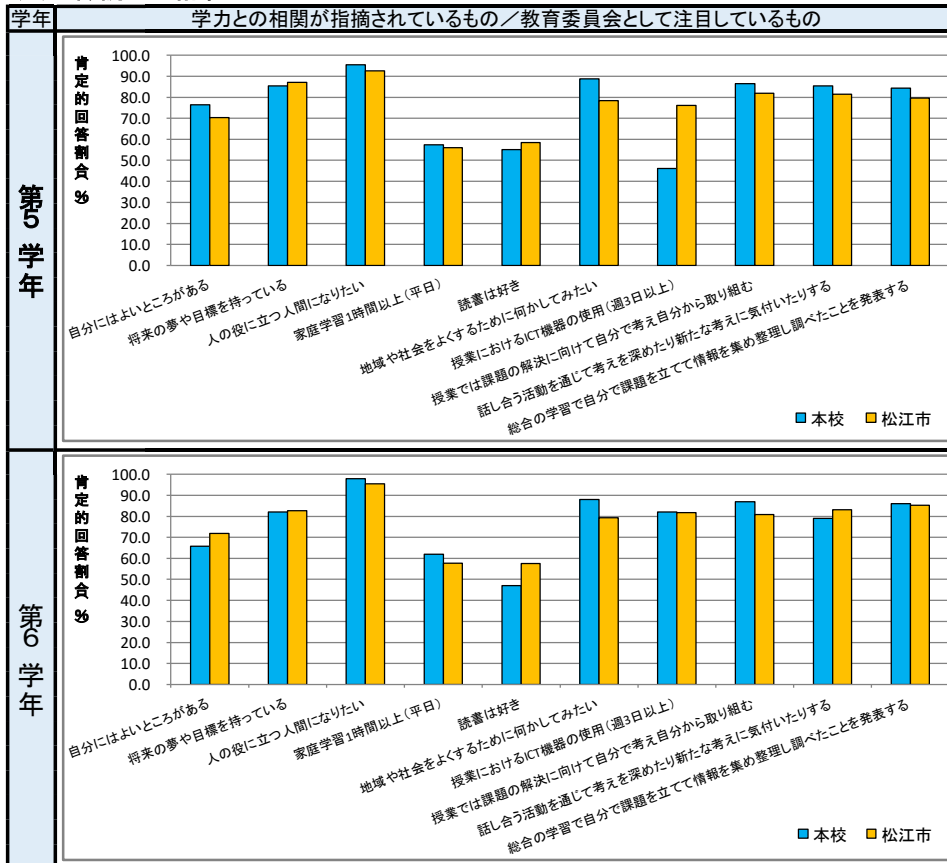


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(-)
第5学年	国語	<p>成果 ○話すこと・聞くことについては、意図に応じて話の内容を捉え、質問することができる。</p> <p>課題 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることに課題が見られる。 ●文章を読んで感じたことや考えたことを共有することに課題が見られる。</p>	<p>・人物像や情景を想像しながら、読む経験を積み重ねる。 ・段階に応じて、読んだことをもとに自分の考えをまとめる学習を積み重ねる。</p>
	算数	<p>成果 ○難易度1, 2については比較的正答率が高く、理解している。 ○表を見て、比例関係を捉えることができる。 ○合同な図形の性質について理解している。</p> <p>課題 ●難易度が上がるにつれ、全国との正答率の差が大きくなっている。 ●数と計算の領域の正答率が低い。中でも分数の計算の理解が十分でない。</p>	<p>・数と計算領域の基礎を定着させるために、繰り返し計算練習をする。 ・簡単な問題から発展的な問題を体験できるような学習のサイクルをつくる。(タブドリなど使える学習ツールを有効に活用する。)</p>
第6学年	国語	<p>成果 ○言葉の特徴や使い方については、第5学年に配当されている漢字を正しく使うことができる。 ○我が国の言語文化に関する事項については、語句の由来に関心をもち、和語・漢語・外来語について理解している。</p> <p>課題 ●話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えることに課題が見られる。 ●言葉の特徴や使い方に関する事項では、文と文との接続の関係を理解することに課題が見られる。</p>	<p>・話の内容を明確に伝えるためのポイントについて、機会を捉えて指導していく。(いくつかの伝え方を具体的に例示し、より内容が伝わりやすい方を考えさせる) ・具体的な文の中で、接続詞の意味を理解できるような場を機会を捉えて指導する。</p>
	算数	<p>成果 ○いろいろな形を組み合わせた面積の求め方を理解している。 ○公式にあてはめて面積や体積を求めることができる。</p> <p>課題 ●縮尺を使って縮図に表すときの長さを求める問題の正答率が低い。 ●複数の図形の中から点対称な図形を選ぶ問題の正答率が低い。</p>	<p>・計算の前に単位を統一する処理が正しく行えるように繰り返し練習する。 ・実物の操作や作図を通して、図形の性質を理解できるようにする。</p>

(2)意識調査の結果



<傾向と今後の対策、分析>
成果○:強み/伸ばしたい点 について
課題●:弱み/改善を要する点 について

【第5学年】
 ○「人の役に立つ人間になりたい」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という項目は、市よりも高く、なおかつ全体的に見ても肯定的回答割合が高い。社会貢献したいという気持ちがさらに育つよう、地域とのつながりを大切にしたいふるさと教育の取組を推進していく。
 ●授業におけるICT機器を活用した考えの共有や比較・考察の学習を増やしていく。

【第6学年】
 ○「人の役に立つ人間になりたい」、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という項目は、市を上回っている。この傾向を生かし、学習活動前には「目的意識」をはっきりさせることが効果的であると考え。
 ●「読書は好き」という項目は、著しく低い。普段から読書に触れる時間を確保していく。

【R7学力調査受検者数】

第5学年	89	名
第6学年	100	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示